

奥多摩町まちづくり委員会 「奥多摩＝国立公園」をPRしてマナーアップ あなたの車にステッカーを貼りませんか？

まちづくり活動を支援し、官民協働を推進する「奥多摩町まちづくり委員会」では、観光マナーアップ啓発事業に取り組んでいます。

今春には、「#KEEP BLUE + GREEN National Park ～考えて、守ろう。緑と青の国立公園～」という標語を掲げ、全12種類のポスタービジュアルおよびステッカーを制作しました。

コロナ禍でより顕在化した、河川敷でのBBQごみの放置や直火、河川・山岳事故など観光にまつわる諸問題に対して、この町が国立公園であることを広くPRし、自身の振る舞いを見直すきっかけにしてもらうことを目的としています。

この度、さらなる普及を目指し、車や自転車など、人の目に触れる場所にステッカーを貼ってくださる方々を募集します。住民みなさんの車がいわば広告塔となり、観光客をはじめとした様々な人の目に触れることで、町のイメージアップ、マナーアップを図る狙いです。

ステッカーは防水で、脱着もスムーズな仕様となっています。(ステッカーサイズは W90 mm× H80 mm)

企画財政課の窓口をはじめ町内各所で無料配布しています。詳細は町ホームページをご確認ください。
※問い合わせは、企画財政課 ☎83-2360



奥多摩町庁舎建設委員会が開催されました

町では、建設から57年が経過し、老朽化と耐震基準に課題を抱える役場庁舎の建設整備に向けた取り組みを進めるため、9月30日に第1回庁舎建設委員会を開催しました。

当日は、識見を有する者、町議会議員、関係団体代表者、一般公募で選ばれた住民委員3名を含む16名の委員に対して、師岡町長から委嘱状が交付され、委員長には、多摩大学経営情報学部の松本祐一教授、副委員長に町社会福祉協議会の木村光恵会長が選出されました。

委員会では、町長から委員長に対し、新庁舎の建設候補地、基本構想並びに基本計画に関する諮問が行われ、事務局から基本構想(案)に基づき、現庁舎の現状と課題、庁舎整備の必要性、建設候補地、事業スケジュールなどの説明後、基本構想(案)の内容について議論されました。(会議資料等、詳細につきましては、町ホームページをご覧ください。)

なお、庁舎建設委員会の会議録は、町ホームページで随時公表しているほか、役場2階企画財政課、子ども家庭支援センター、保健福祉センターの窓口でも閲覧することができます。

※問い合わせは、企画財政課 ☎83-2360



(写真は、町長から松本委員長へ諮問)

救急医療情報キット を支給しています

町では、町内在住の65歳以上の方で、一人暮らしの方、高齢者のみでお住まいの方または日中や夜間に独居となる方を対象に、救急時に必要な医療情報をあらかじめ保管しておくことができる、「救急医療情報キット」を支給しています。

この「救急医療情報キット」とは、あらかじめ所定の用紙に、住所、氏名、年齢の他、既往歴、かかりつけ医療機関、緊急連絡先などを記入し、所定の保管場所(冷蔵庫)に常備して、救急時の適切な医療活動を支援するためのものです。

ご希望の方は福祉保健課に、申請書を提出してください。

※問い合わせは、福祉保健課 ☎83-2777